

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-42 第2616回 例会2017年6月8日(木)

クラブ協議会

会長 中島高夫 会長エレクト 洪澤健司
副会長 巴 高志 野田貞之 飯塚明男 幹事 坂本雄一
2016～17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム
第2570地区ガバナー 前嶋修身

進行：SAA 井田正志 会員

点鐘：12:30 中島高夫 会長

ソング：われらの生業 四つのテスト

会長の時間

中島高夫 会長

皆さんこんにちは 第2例会にお忙しい中、ようこそ出席頂き誠にありがとうございます。先週の例会では新会員5名の入会式を行いました。本年度はこの新会員5名の増強で、7名の新会員が誕生しました。又色々な事情で退会された会員もおりますが状況が変われば、又再入会という事もあるかもしれません。是非入会を勧めていけたらと思います。いずれにしても私の年度は今日の例会が終わると残り3回の例会で最後となります。毎日があっという間に過ぎて行きもう終着点が目の前に近づいて来た様な感じがしています。



本日は先週に引き続きクラブ協議会を行います。先週報告できなかった、広報雑誌委員会山田委員長とSAA坂本チーフより1年間の活動報告をお願い致します。続いて社会奉仕委員会担当の野田副会長、地域活性化委員会の斉藤委員長、ニコニコBOX委員会の浅香委員長、職業奉仕委員会の五十嵐委員長にお願い致します。次に国際奉仕担当の飯塚副会長、国際奉仕委員会の須永委員長、青少年委員会の永井委員長、ロータリー財団委員会の茂木委員長、米山記念奨学委員会の岡芹委員長の順にお願い致します。

子供の理科離れをなくす会、代表の北原達正氏の世界に羽ばたく子どもを育てると言う1部を抜粋して話をしたいと思います。科学立国は日本だけでなく多くの国が目指しています。「科学」は世界中で必要なグローバルなスキルです。日本は科学立国、ものづくり立国、グローバル社会をずっと目指していますが、産業界では「日本には人材がない」という声がどんどん大きくなっています。人材を育成する教育界と人材が活躍できる産業界の遊離を是正しなければなりません。日本には素晴らしいジュニアがたくさんいます。そして科学を通した人間教育、人材育成は可能であることを是非知っていただきたい。

1980年代初め、アメリカのレーガン大統領は「危機に立つ国家」という演説の中で、最近の科学革命という点からみれば、我々は無知蒙昧な世代を育てている。これは国家的な犯罪に等しい、「今後約10年でアメリカの子供の数学、理科の水準を世界一にする。科学はすべての学生に必要な」と述べて教育改革を断行しました。まさに90年代のアメリカではその子供たちが成長して情報工学や遺伝子分野などで多くのビッグビジネスを展開しました。そして現代は先進国だけでなく、アジアの途上国を含めほとんどの国が科学教育に力を入れています。なぜなら、資源がなく人口が多い日本が経済的に豊かになった大きな理由の一つが、教育にあることを皆知っているからです。「子供の理科離れをなくす会」を約12年前に始めました。会の目的は、科学を通して人間教育、人材育成を行おう、ということで「科学者、や技術者をつくろう」などとはほとんど思っておりません。野球やサッカー、ピアノ、バイオリンを小学生が土日を通して練習していたら、褒めてもらえます。しかし、日本は科学立国を称しているのに、ずっとロボットを作ったりしていると「オタク」と言われてしまいます。

スポーツの指導者は「これは人間教育である」とよく言います。社会性、努力と根性、チームワークなどを身につけられるということです。しかしそれらは科学教育でも可能です。現代は1人の天才が何かの研究をすると言うことは、まずありません。必ずチームを組みます。

又100回失敗した実験で101回目に挑戦するという事は、タフな精神力を持たなければできません。科学を通して人間教育・人材育成ができるのならば、一石二鳥ではないか、と考えてこの会を立ち上げました。論理的思考ができ、科学的な素養を持ち、プレゼンテーション能力があれば、あらゆる職業に対応できます。この会の目的は、文系と理系の枠をなくし、体験型・実験型コンテンツを用いて社会ニーズとしての科学教育・グローバル教育の需要に応え、科学を通した人間教育・人材育成事業を行いたい、ということです。

幹事報告

坂本雄一 幹事



- 1、国際ロータリー第2570地区 地区事務所より 第14回【韓国韓日親善会議参加の旅】参加申込書が届きました
- 2、ロータリー希望の風奨学金【5月31日現在の収支計算書が届きました
- 3、ロータリー情報研究会よりロータリー情報冊子及びロータリー情報ハンドブックのご案内が届きました
- 4、本庄ボランティアグループ連絡会より29年度総会の総会議事録が届きました

出席率報告

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
75名	4名	71名	40名	65.3%

ニコニコBOX報告

「今日はクラブ協議会です。宜しくお願いします。」

中島高夫 坂本雄一 渋谷修身 井田正志
矢島淳一 鈴木 純 須永秀和 八木茂幸
高柳育行 岡芹正美 関根 貢 岡崎正六
坂田清茂 春山茂之 金井福則 五十嵐敦子
萩原達夫 浅香 匡 加藤玄静 飯塚明男
戸谷清一

飯塚明男

「今日は、クラブ協議会です。よろしくお願ひします。」

加藤玄静

「国際大会参加の高柳会長ご夫婦、茂木聡会員、事務局の小林さん元気で。」

関根 貢

「長い間大変御世話様でした。37年間素晴らしいロータリー人生を過ごさせて頂き有難うございました。」

戸谷清一

「米山奨学会総会に突然欠席して申訳ありませんでした。」

戸谷清一

「今年度もケーブルテレビの取材にご協力いただきましてありがとうございました。」

次回プログラム発表

6月15日(木) 第3例会 17:00～ 夜間例会
公開例会

ロータリー希望の風チャリティー講演会
テーマ「心豊かに自分らしく生きる
～つながる・よりそう～」

クラブ協議会

- 1、飯塚副会長 総括及び各委員長より発表
国際奉仕・青少年・ロータリー財団・米山奨学
- 2、野田副会長（社会奉仕）
地域活性化・ニコニコボックス・職業奉仕

広報雑誌委員会 山田喜一・岡崎正六・小杉公良・平野 太・藤井 仁

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>